

(別紙)

平成 19 年度化学物質の環境リスクに関する国際シンポジウム
(第 10 回化学物質の内分泌かく乱作用に関する国際シンポジウム、
第 6 回小児等の環境保健に関する国際シンポジウム) プログラム

平成 19 年 12 月 9 日(日)

13:00 ~	開会式 主催者挨拶 協力者代表挨拶 来賓代表挨拶
13:30 ~	シンポジウム 「化学物質の内分泌かく乱作用について～10 年間のあゆみ～」 総合司会 北野 大(明治大学) パート1 基調講演 海外における化学物質の内分泌かく乱作用に関する取組 WHO の取組 井上 達(国立医薬品食品衛生研究所) OECD の取組 青山 博昭(残留農薬研究所) 米国の取組 Jim Kariya(アメリカ合衆国 EPA) EU の取組 Hans Christian Stolzenberg (ドイツ環境庁)
15:00 ~ ~ 16:30	パート2 パネルディスカッション パネリスト 井口 泰泉(基礎生物学研究所) 井上 達(国立医薬品食品衛生研究所) 吉川 肇子(慶應義塾大学) 岩本 公宏((社)日本化学工業協会) 有田 芳子(主婦連合会) 木村 博承(環境省)

平成 19 年 12 月 10 日(月)

9:30 ~ 11:30	セッション 1 コーディネーター 発表者	化学物質の内分泌かく乱作用に関する基礎的な研究 ～野生生物と環境・水界生態系への影響～ 井口 泰泉(基礎生物学研究所) 4名程度
13:30 ~ 15:10	セッション 2 コーディネーター 発表者	化学物質の内分泌かく乱作用に関する基礎的な研究 ～In vivo/ in vitro 試験系における試験研究の現況～ 遠山 千春(東京大学) 3名程度
15:20 ~ 18:00	セッション 3 コーディネーター 発表者	小児環境保健に関する疫学調査について 佐藤 洋(東北大学) 4名程度

セッションタイトル名等に変更する可能性があります。